



鳥羽の未来を担う若者に期待

鳥羽商工会議所かもめホールで4月6日、新卒就職者激励会が行われ市内事業所などに就職した90人が出席しました。

式典では、鳥羽商工会議所の松田音壽会頭から参加者へ「鳥羽市の文化や歴史などの魅力を広く知り、発信してほしい」と激励の言葉が贈られました。

また、新卒就職者代表・鳥羽シーサイドホテルの奥村春美さんは「観光都市である鳥羽で働くことに誇りを持つとともに、責任の大きさを実感しています」と謝辞を述べました。



とばっこ探偵団で鳥羽の歴史を知ろう

4月10日、鳥羽の歴史を学べる学習本「とばっこ探偵団―海からの挑戦状―」の完成記者発表がありました。この本では、海女・鳥羽城と九鬼嘉隆・御木本幸吉と真珠などが写真やイラストを交えて分かりやすく説明されています。

小竹教育長は「小学生向けに作成したが、大人が見てもおもしろい内容になった」と太鼓判を押しました。

市内の小学4年～6年生に配布され、市立図書館で貸し出すほか市ホームページにも掲載しています。



鳥羽なかまちに屋号旗を設置しています

鳥羽なかまちの通りに面する家屋の軒先に屋号旗が設置されました。これは、鳥羽なかまち会の小田徳彦さん、杉田公司さんと地域おこし協力隊の佐藤創さんが協力して制作・設置を行い、赤崎神社までの旧道を彩るためのものです。

屋号旗には紺地の厚手の布に屋号紋と屋号が描かれています。屋号紋がない家や商店については、屋号紋の代わりに鳥羽なかまちのかまどや、新たにデザインされたロゴマークがあしらわれました。

小田さんは「まち歩きの楽しみになれば」と語りました。



みんなで楽しめるボッチャ

鳥羽ロータリークラブから鳥羽市社会福祉協議会へボッチャの用具2セットが送られ、4月4日、保健福祉センターひだまりで寄贈式が行われました。

ボッチャは、重度脳性まひや同程度の四肢重度機能障がいのあるかたのためにヨーロッパで考案されたスポーツで、一昨年に開催されたリオパラリンピックでも話題になりました。

社会福祉協議会の森下幸穂会長は「ボッチャは障がいのあるかただけでなく、健常者のかたも楽しめます。市内の団体などにも無料で貸し出しも行い、幅広く活用していきたい」と思いを話してくれました。